

ひと

戮力協心の志で北陸発展に汗

日本銀行金沢支店

吉濱 久悦 支店長に聞く

…支店長職への思い…

秋田支店長を務めた二年間は、大変充実した日々を経験できました。それは、金融機関だけでなく、地域のいろんな方々とお会いでき、地域の経済発展・課題を肌で感じられる、地域の皆様の顔が見えるやり甲斐のある仕事だと感じたからに他なりません。

金沢支店は、北陸三県を業務区域とする中核支店であり、以前、北陸新幹線の開業効果で、インバウンドも加わり観光客で大変賑わっていることを支店長会議で耳にしました。なおかつ、歴史と伝統があり、製造業も力強い地域の支店長を再び務めさせていただけることになり、感慨も一人です。

…これまでを振り返って…

平成十年前後は、全国の金融機関が大変厳しい状況にある中、調査の仕事に携わり、全国各地や海外の金融機関に足を運びました。金融機関経営やリスク管理の議論に誠心誠意取り組み、非常に思い入れの深い仕事となりました。

近年、所属していた文書局では、日本銀行のシンボリック的存在であるレンガ造りの本

館建物の免震化工事にも携わりました。最新技術の工事により、大地震にも耐えられるようにし、業務継続体制を強化しつつ、重要文化財を、次代に継承できるよう整備できたことは感慨深いものがあります。

…北陸の産業界の印象…

人口減少、海外との競合等の逆風が吹い



ている環境にあって、北陸の経営者の方々は、自社の技術力・製品力で何ができるかを常に考え続ける粘り強さや逞しさを持つておられ、それが各企業の強みになっていると感じています。

また、人手不足が深刻な中、省力化に向

けた積極的な設備投資により、こうした負の影響に対処する動きもみられます。二〇一〇年代には女性や高齢者の労働参画を促して対応していましたが、労働力の追加投入の余地は、少なくなっています。省力化・効率化に資する設備投資や人的資本への投資によって、生産性を高めていくべき状況にあり、重たい課題ですが、北陸の経営者は、前向きに取り組まれているように思います。

…世界情勢の行方…

ロシア・ウクライナ情勢等を受け、エネルギー・原材料価格が軒並み上昇しています。同情勢については、終わりが見通せない

----- 吉濱氏 プロフィール -----

生年月日	昭和45年2月20日
出身地	東京都
血液型	O型
平成4年3月	学習院大学法学部卒
同年4月	日本銀行入行
	システム情報局企画役、政策委員会室
	企画役、文書局企画役、文書局管財課
	長、秋田支店長、文書局参事役などを歴
	任し、令和4年3月 金沢支店長 52歳

い点等が難しいところで、足もとは、企業・家計共に相応の耐久性をもっていると考えていますが、グローバルなサプライチェーンに支えられている日本経済に、どのような影響を及ぼすのか、引き続き注視していく必要があります。

…金沢支店長として…

金沢支店は、来年の秋頃には駅西地区の広岡に新店舗が竣工予定です。現支店は、金沢の商業の中心、観光名所に位置していることから、地元の方々と行政のご検討を見守り、地域にとってベストな利活用をしていただけることを願っています。

また、金融経済面では、北陸が一層連携し、総合力を発揮することが、プラスに働くと考えています。そうした際に、金融機関が、事業者のニーズをマッチングする役割が更に重要になると考えています。例えば、北陸地域外に発注していた付随する仕事を、北陸内に発注し、経済が波及効果を高めながら発展する余地がないか、産業構造面等からみて、北陸の発展の伸びしろがどこにあるのか、といった調査・提言により、少しでも貢献できればと考えております。北陸の一員・応援団として邁進していきたいと思っています。

インタビューを終えて

大学では、管弦楽団の一員としてバイオリンに専心。

「クラシックを聴くのも好きで、連休中の音楽祭は堪能させていただきました。北陸三県の各地に、電車とバスで足を運び、街歩きを楽しみたい。」と顔をほころばす。

東京の自宅に家族を残しての単身赴任。夏目漱石が晩年理想とした「則天去私」の精神をモットーに、北陸のコーディネーター役を標榜する吉濱支店長である。